

むかで退治の伝説で名高い 三上山(近江富士)。

近江国栗太郡田原郷に住んでいた弓の名人、依藤太が、ある日瀬田の唐橋を渡っていると、橋の上に大蛇が横たわっていました。藤太がひるまないのを確かめると、大蛇は龍神となつて、三上山に住むムカデを退治してくれるように頼みました。藤太は快く承知し、ムカデ退治に出かけると唾液をヤジリにつけた矢を命中させ、見事に射止めたのです。この伝説は昔から三上山のふもとを流れる暴れ川、野洲川を治めることをたとえたお話かもしれません。



野洲川河川公園グラウンド

住民参加の公園整備を めざす野洲町。

野洲町では、野洲川大橋の下流に多目的グラウンドやテニスコート、野球場などを備えた野洲川河川公園を建設。また、橋をはさんで上流側の三上地区では、平成9年に公園整備に関する検討委員会が発足、月1回の話し合いを通して基本計画書を作成。今年度はきめ細かな設計についての協議が重ねられ、住民参加による公園整備が積極的に進められています。整備面積3.2ヘクタールという比較的大きな規模の事業への住民参加は全国でも数少なく、野洲川とともに近江のシンボルである三上山を望む地域にふさわしく、住民の愛着をはぐくむ整備事業に期待が集まっています。



野洲川ふれあい広場せせらぎ水路

守山市制30周年に向けて 着々と進む公園整備事業。

守山市では、立入河川公園の整備が進められています。屋外バスケットコートや2面のサッカーコート等、各種スポーツ施設が充実。とくに、すでに完成しているグラウンドゴルフ場は人気が高く、多くの人々が利用しています。また、全整備面積9.3ヘクタールの完成を守山市制30周年を迎える平成12年に予定。市民みんなの健康づくりや憩いの場として広く親しまれる河川公園の実現をめざしています。